２０１５年４月６日(毎月１８回1・3・5・6・7・9の日)　通巻 6752 号　1983年7月19日 第３種郵便物許可　頒価50円（1）

第31号

SSTK

さくら草だより

発行人 埼玉県障害者団体定期刊行物協会
〒332-0011 川口市元郷1-10-13
電話 048-225-1625

編集人 社会福祉法人さくら草
〒336-0015 さいたま市南区太田窪3501-2　電話 048-813-7426 Fax 048-886-6301
HP http://www.sakuraso.net/　E-mail sakuraso@www2.kiy.jp

てんハウスぐりん 4月1日オープン！

～10人の仲間が一緒に輪になって暮らす～そんな想いで『てんハウスぐりん』と名付けられました。入所者10人、今後はショートステイ2人を受け入れるグループホームです。

木造2階建て、ウッドデッキもあります。ウッドデッキは、避難経路にもなっており、居室をぐるっとつないでいます。また、オープンスペースもありみんなの憩いの場になりそうです。

土地を提供してくださった石井様、設計士の和田様をはじめ、ご協力いただいた多くの皆様に感謝申し上げます。

お知らせ：『さくら草だより』はデイ利用者が折り～封入までを担当し提供しております。　デイセンター

出会いと別れがありました（埼玉県立大学ソーシャルワーク実習）

まだ暑い、セミの鳴いているころ。「今年は大学生、いつ来るの？」と実習担当に聞く利用者さんがいた。デイセンターでは毎年冬に、埼玉県立大学の実習を受け入れている。今年は５名（２年生）の学生さんが来てくれた。実習は３週間余りと考えてみれば長く、過ぎてしまえば早い。楽しみにしている利用者さんの気持ちに重ねると、早い。

「障がいのある方とのコミュニケーションと、自己覚知！」と、それぞれの目標を持って実習にのぞみ、考え、悩み、経験した。一生懸命な人に出会い、話を重ねると、利用者さんもスタッフも生活に幅が広がる。これは、学生さんが思っている以上に幅がある。

１８日間の実習を終えたその日。『お別れ会をやりたい』という利用者さんは、司会を担当した。マイクを握って片手で車イスをこぐ。

♪もうすぐ今日が終わる～　と曲が流れる。マイクを持って、それぞれの言葉で、ゆっくり時間をかけて、実習生にありがとうの声を贈る。『実習生にもひとこと！』学生はたぶん、何を言ったか覚えていないと言うだろう。でも言葉ではない何かがある。その現場の空気はとっても良いからだ。

次の日。学生がいなくなってしまった・・・。いつもの日課、何かが足りない。２０分早く食事の準備が整った。そんな空間にひとこと。

「・・・来年は、大学生いつ来るの？」そう、私たちは前を向いて進む。

（野島）

Welcome デイセンターアトム！

小林（こばやし）　玲奈（れいな）さん（アトム）

今年も笑顔の素敵な新しい仲間が入所してくれました。楽しいさくら草生活を一緒に満喫しましょう。

＜活動報告＞　（２０１５年　１月　１日～２０１５年　３月　３１日）

１月　１４日	成人式	
１４～１５日	防火管理講習　（山本和）	
２月　１４日	本人中心支援と共生社会の構築	（市川、野島、星野、奈良）
１５日	第２５回　埼玉県障害児通園施設職員実践交流セミナー	（関口）
１５日	エピソード記述研修	（市川、野島、小林、奈良）
２月　１６日	新任職員フォローアップ研修	（天川）
１６～３月１１日	埼玉県立大学、大学生実習	（５名）
１８日	埼玉県発達障害福祉協会平成２６年度　実践交流会	（佐藤）
２６日	浦和特支保護者施設見学	
３月　６日	いちご植苗式	（アトムとコスモス）
２５日	入所式	

健康診断―年２回　ヘアカット（理・美容）　通院介助　体重測定―毎月　誕生会―各誕生月　音楽療法―月１回
アロマセラピー―月１回　みんなのアトリエ―月２回　静的弛緩誘導法訓練会参加―月１回　陶芸―月２回
家族会―月１回　さくら草せっけん教室－月１回

２０１５年４月６日（毎月 18 回１・３・５・６・７・９の日）　通巻６７５２号　　1983 年 7 月 19 日　第３種郵便物許可　頒価 50 円(3)

サポートさくら草

～　応援されたい　～

階段よりエスカレーターが好き。徒歩５分のスーパーだって車で行く。歩くの大嫌い！な私が、「さいたまシティマラソン２０１５（ハーフの部)」に参加しました。なぜ急に走ることにしたの？と聞かれます。

《前日の壮行会。たくさん元気をもらった》

それは！応援されたいから！

ここ数年、さくら草の職員が複数名マラソンに参加するので、その応援をしていました。サポートの利用者さんと一緒に応援の旗を作り、沿道でランナーに声援を送ります。疲れてトボトボ歩きのランナーも、利用者さんの「がんばれ！」の掛け声にまた上を向いて走り出す。言葉が出せなくても、全身の力を使って応援ウチワを振る。ニコニコと満面の笑顔を送り、走る皆さんを応援する。すると、ランナーの皆さんは「ありがとう！」「がんばるよ！」と顔をあげ、再び走り出していくのです。みんなの応援がくたびれ果てたランナーにとって、いったいどれだけのパワーになる？すごいな！と思うと、自分でも体験してみたくなり、「私もみんなに応援されたい」の思いが募り・・・うっかりエントリーしてしまったのです。身の程知らず。

《応援プラカード作り。疲れ果てスヤスヤ》

小雨交じりのマラソン当日。スタートから７．４キロ地点には応援のみんながいる約束。そこまではなんとしてでも走る！と必死。新浦和橋を超えて、沿道にいるみんなを見つけて嬉しさ爆発。ここまで来た！という喜びでいっぱいに。声援と笑顔に励まされ、絶対にゴールまで頑張る！と全身に力がみなぎりました。みんなの力を実感。

《ひときわ盛大な応援団。》

ゴール間近、さいたまスーパーアリーナ付近に先回りしていたみんなを発見。嬉しくて残りの力を振り絞ってギリギリのゴール。多くの方が完走を喜んでくれ、走って良かったと、本当に思えました。私が通り過ぎるのを待ってくれている間にも、多くのランナーを応援し続けていたとのこと。みんなから元気をもらったランナーが、私の他にもたくさんいたと思います。さくら草の理念である「どんなに重い障がいがあっても地域で暮らす」。地域という「場所」はもちろんですが、そこで暮らす人と人との交流こそ大切。それが自然にできているみんなはすごい。本当に頼もしい。

《梓さん特製応援うちわ。ゴールでお待たせしました》

応援されたい！と言う不純な動機で始めたマラソン。ですが今回のマラソンがきっかけで、６月には「北海道 美瑛ヘルシーマラソン（クォーターの部)」に参加することとなりました。地元の福祉施設の利用者さんと一緒に走ります。不思議で嬉しいご縁に感謝しつつ・・・楽しんできます！

《サポートさくら草　佐々木千恵》

２０１５年４月６日（毎月 18 回１・３・５・６・７・９の日）　通巻 6752 号　　1983 年 7 月 19 日　第 3 種郵便物許可　頒価 50 円(4)

サポートゆず

～ゆずがきれいになりました。～

床と壁を張り替えて、すっかりお化粧直ししたゆずです。

細かい修繕を重ねつつ、なんとかがんばってくれた床と壁でしたが、今回めでたくお役目を終えました。

ほか、いくつかの修繕やリフォームを加え、ほぼ２ 月いっぱいかけて工事が終了しました。

気分も一新フレッシュになって、
ゆずは元気に新年度のスタートです。

～てんかんについて勉強しました～

２月のヘルパー会議にて皆でてんかんについての勉強会を行いました。講師は職員の丸中が担当

てんかんは、脳の神経細胞の興奮がコントロールできなくなり、興奮状態が続いてしまう事。
また、それにより、さまざまな形の発作が起きてくるなどの話があり。

そのあと、実際に、利用者さんの発作に遭遇し、対応した職員の体験談をいくつか紹介してもらいました。

みなさん実際に遭遇する可能性もあるだけに、真剣に聞いていらっしゃいました。
今年度も勉強会を継続する予定です。

てんかん発作時の注意点（抜粋）

- 慌てず騒がず冷静に。
  見た目でびっくりしない、ほとんどは 10 分ほどで回復する。
- 危険を回避する。
  転倒によるけが等の防止。
  食事中・入浴中・の窒息の防止。
- 状況をよく観察する。
  静かで危険のない場所に移動。衣服等をゆるめ
  安静にし、見守る。
- 救急車が必要な場合は？

２０１５年４月６日（毎月 18 回１・３・５・６・７・９の日）　通巻 6752 号　　1983 年 7 月 19 日　第 3 種郵便物許可　頒価 50 円(5)

南区障害者生活支援センターあみ～ご

平成 27 年４月より、あみ～ごに加わった　**古畑　愛さん**にインタビュー！！

Q1,趣味は？

読書。

その他に以前は自分で畑で野菜を作ったり、

漬物を作ったりしていました。

（現在は機会がなくなってしまいました…）

Q2, 特技は？

長野に以前住んでいた時、木のおもちゃ屋を９年やりながら、福祉関係をやっていました。また玩具療法士を認定で取り、おもちゃ講座などや療育等でおもちゃ療法ができます。

Q3,血液型は？

Ａ型です。（あまりＡ型には見られません）

Q4,好きな食べ物は？

特にこれというのはありませんが、最近ハマっているのが、木村屋総本店の餡ドーナツです。ほぼ毎日のように買っています。

Q5,好きな芸能人は？

亀梨和也さん、速水もこみちさん、お笑いのちゅうえいさん。

Q6,苦手なものは？

強い性格の人は苦手です。デジタルには弱いかもしれませんが、基本的なことは大丈夫です。

Q7,チャームポイントは？

大きな声で（ちょっと下品？）笑うこと。

Q8,ストレス解消方法は？

好きなビデオや連ドラを借りてきて笑っています。

歌が好きなのでカラオケなど。たまに友人とランチなど。

Q9,あみ～ごで働くにあたっての抱負を教えてください。

まずは先輩方との信頼関係を作りながら、職場に慣れ、早く任せて頂けるよう、頑張っていきたいと思います。

Q10,その他、何か一言あればお願いします。

12 月からこの約４ヵ月近くコスモス班では利用者の方、ゆう職員の方、また職員の皆様には大変お世話になりました。特にコスモスの仲間と離れてしまうのが本当にさみしいです。これは希望ですが、月１回くらいはアシストでお会いしたいと思っています。（まだわかりませんが）　４月からまた新しい職場となり不安はありますが、楽しく仕事をさせて頂けたらと思います。

新体制のあみ～ごをよろしくお願いいたします（*^_^*）

南区障害者生活支援センター　あみ～ご

電話：048 - 866 - 5098　ＦＡＸ：048 - 866 - 5128　相談受付：平日 9:00～17:00

社会福祉法人さくら草

平成 27 年度事業計画

平成 27 年度は、社会福祉等改正法案の行方が気になるところである。さいたま市ではノーマライゼーション条例が施行されており、昨年には障害者権利条約が批准され、多くの社会福祉法人では利用者一人ひとりの生活の豊かさを求める支援の充実、制度の充実を目指している。社会福祉制度改革の動向は、規模の拡大、複数の法人が合併し経営の効率化など支援が必要な方を集団で画一的なサービスを提供する方向に向かわせるのではないかと危惧する。

また、今年度見直された報酬単価は、増額がないなか職員の処遇改善に努めることを求めている。厳しい運営が懸念される年度になる。このような情勢下で、各事業を以下のように進めていく。

◎　今春から待望の共同生活援助（グループホーム）を開設する。名称は、提供して頂いた用地にあった元グリーンハウスの場所で、10 名の仲間が輪になって仲良く暮らすイメージから「てんハウスぐりん」となった。親元を離れる重度心身障害者との暮らしをゆっくりと始めていきたい。

◎　昨年度新たに開設した重度心身障がい者を対象にした放課後等デイサービス「キッズさくら草」は、日々5 名前後の就学児に利用して頂いている。

新たに取り入れた理学療法・作業療法も放課後等デイサービスと通所施設でも動き出してきた。

◎　「デイセンターさくら草」と「デイセンターアトム」と二か所に分かれた通所施設は、利用者同士の関わりも深まりそれぞれが個性をだし動き出している。今年度、さらに医療的ケア体制の充実を期し痰の吸引の講習を受け認定者を増やす。また意思決定支援の充実から発語の無い方のコミュニケーションの在り方を深める。自閉症など障害の見方、支援の在り方を深める年度にしたい。

新たに利用者を受けとめるには上限に達しているが、今年度、特別支援学校を卒業する方と障害者支援施設から再びさくら草に戻ってくる方の２名を受けとめる予定である。

◎　「サポートさくら草」「サポートゆず」「アシストさくら草」など居宅・移動支援事業所は、運営の更なる強化と法人内事業所の支援の向上と業務の平準化を進めていく。

◎　「南区障害者生活支援センターあみ～ご」は、利用者の強い要望が実を結び「精神」対応が戻ってきた。南区の利用者が多いこともあり社会福祉協議会が運営する支援センターと二カ所で「知的・身体」と併せ三障害対応の支援体制が整った。

昨年度は、補助金が半減し法人から繰入れての運営であったが、一般の相談ならびに福祉サービス利用の計画相談も増えているので今年度は職員を増員し利用者対応にあたる。

前年度開設した「相談事業所あんず」と連携し、計画相談を担っていく。

福祉情勢が大きく変化するなかで、今年度も事業所の運営体制の強化と法人内連携をさらに深め、法人の理念「どんなに重い障がいがあっても地域で自分らしく暮らせるように支援」する利用者支援の向上に取り組んでいく。

（山本）

編集後記

「また、さくら草に来たいです」とお別れの言葉をくれた人たちがいました。“出会いと別れの支援”というのでしょうか。考えると複雑ですが気持ちはシンプルに『さみしい』です。（N）